

平成24年度

新技術概要 (申請情報)	開発目標	経済性の向上、施工精度の向上、品質の向上		
	新技術登録番号	KT-090015-V	区分	システム
	分類	調査試験 - 測量 - その他		
	新技術名	C3Dによる極浅水域での3次元測深技術システム		
	比較する従来技術 (従来工法)	単素子測深機及び重錘による深淺測量		
新技術の概要 及び特徴	本技術は、専用船を用いた極浅水域及びGPS不到達水域に対応した3次元サイドスキャンソナー(C3D)による水深計測技術であり、従来は単素子測深機及び重錘による深淺測量をしていた。本技術の活用により、極浅水域測量の施工性の向上とコストの低減が期待できる。			

活用効果評価	所見	<p><b>【設計比較対象技術】</b>  <b>&lt;総評&gt;</b>                  工程に極めて優れ、経済性、品質・出来形、施工性に優れた技術である。</p> <p>・複数測線を面的に同時測量できるため、工程が大幅に短縮され、経済性、施工性に優れる。                  ・面として3次元での湖底状況を把握できるため、品質・出来形に優れる。</p>	<p>項目の平均(点)と従来技術(従来工法)(点)の比較</p> <p>— 従来技術(従来工法) — 新技術</p>
	留意事項		

活用効果調査結果	対象工事	1 浅深測量業務 九州地整 <従来技術> 単素子測深機及び重錘による深淺測量 H22 2 ダム浚渫工事 中部地整 <従来技術> 単素子測深機及び重錘による深淺測量 H22 3 浅場造成工事 関東地整 <従来技術> 単素子測深機及び重錘による深淺測量 H23 4 貯水池測量業務 関東地整 <従来技術> 単素子測深機及び重錘による深淺測量 H23 5 深淺測量業務 九州地整 <従来技術> 単素子測深機及び重錘による深淺測量 H23 6 河床調査業務 九州地整 <従来技術> 単素子測深機及び重錘による深淺測量 H23 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20
----------	------	--

施工時評価	従来技術(点)	項目の平均(点)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
			H22	H22	H23	H23	H23	H23														
	経済性	C	B	A	B	B	A	A	A													
	工程	C	A	A	A	A	B	A	A													
	品質・出来形	C	B	B	B	C	B	B	B													
	安全性	C	C	C	C	C	C	C	C													
	施工性	C	B	B	B	C	B	B	B													
	環境	C	C	C	C	C	C	C	C													
その他	-	-																				
施工時評価点	-	B	B	B	C	B	B	B														
追跡調査	-	-																				
総合評価点	-	B	B	B	C	B	B	B														

活用効果評価	項目	評価結果	補足
	成立性	技術として成立している	内容: 技術における機能、品質、性能などを実験や理論的なもの等での確認・証明の有無 判定区分: 技術として成立している / 技術として成立していない
	優位性	従来技術より優れる	判定区分: A 従来技術より極めて優れる / B 従来技術より優れる / C 従来技術と同等 / D 従来技術より劣る
	安定性	高い安定性を有す	判定区分: 高い安定性を有す / 安定性に問題がない / 安定性が確認されない
	現場適用性	広い	判定区分: 広い / 特に広いとまではいえない
	区分	従来技術に比べて活用の効果は優れている。また、活用の条件の違いに対する評価の安定性を有し、多くの現場で良い評価を得ている。	
追跡調査の必要性	不要		
追跡調査			